

世界子ども水フォーラム・ フォローアップ in 北海道2010

開催趣旨

近年、世界中で、気候変動に起因するのではと考えられるような深刻な水不足、洪水による大きな災害が発生しており、その他にも水汚染、地下水涸渇、湖沼の面積激減などの多面的な水危機が問題となっています。

日本における私たちの生活の中でも、近年の局地的豪雨による水災害の頻発から、気候変動の影響が水害や水利用といった私たちの身近な「水」に及んでいるのではないかということが多くの方々に意識されてきているといえます。

このような世界の水危機について国際間で協議し、解決に向けて具体的な指針を示すことを目的として1997年より3年に一度、「世界水フォーラム」が開催されています。そして、2003年に日本（京都・大阪・滋賀）で開催された「第3回世界水フォーラム」では主要な分科会のひとつとして、次の世代を担う中学・高校生の若者たちが中心になって考え、議論するために、「第1回世界子ども水フォーラム」が開催され、日本の中高生も多数参加しました。この時、世界中の子どもたちの日常における水への関わり方の違いなど、日本の子どもたちは大きな衝撃を受けましたが、一方で子どもたち自ら考え、行動を起こしていることについて誇れることも知りました。

「世界子ども水フォーラム・フォローアップ」は、この「世界子ども水フォーラム」の経験や情報を引き継ぎ、水に関する諸問題の解決方策の普及・啓発と子どもたちのネットワーク構築等による人材育成を目的として、2003年より毎年開催しています。

その後、2006年に第2回大会がメキシコにて2009年に第3回大会がイスタンブール（トルコ）にて開催され、いずれもこのフォローアップから選抜した代表者が参加し、水問題解決のための行動等についての議論や発表を行い、世界各国の子どもたちと意見交換を行ってきました。

「世界子ども水フォーラム・フォローアップin北海道2010」においては、このような世界の水に関する諸問題や自分たちが行っている水に関する活動等について、お互いに議論し、考え、発表する機会を提供することにより、身近な水問題が世界の環境問題に深くかかわっていることを認識し、子どもたち自身の活動の更なる発展を期待するとともに、日本国内で活動する子どもたちのネットワークを広め、さらに次回世界大会に向けての視野を広げていくことを目的として開催するものです。

目次

開催趣旨	1	第1分科会	13
開催目的	2	第2分科会	15
開催概要	2	第3分科会	17
特徴と効果	2	第4分科会	19
大会プログラム	3	第5分科会	21
大会の様子		第6分科会	23
1日目/8月2日（月）	4	フォローアップin北海道2010に参加して	25
2日目/8月3日（火）	7	関連ウェブサイトのご紹介・参加者一覧	26
3日目/8月4日（水）	10	実行委員・運営スタッフ一覧	26



開催概要

フォローアップin北海道2010の開催目的

本大会は以下の4つの目的のもと開催されました。

- ①世界子ども水フォーラム及びフォローアップ大会における経験及び成果を引継ぐ。
- ②水に関する活動を広げていくため、自分達子どもができることを議論する。
- ③子どもたちの水に関するネットワークを構築する。(同じ仲間がいることを知る。)
- ④次世代を担う若者たち、子どもたちを育成する。

フォローアップin北海道2010の開催概要

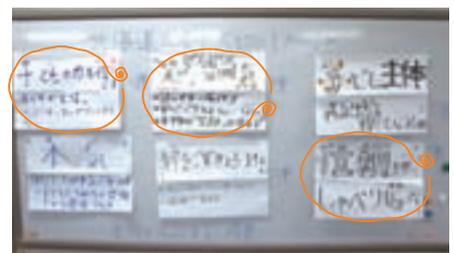
- ①開催日程：平成22年8月2日(月)～4日(水) 2泊3日
- ②開催場所：北海道立洞爺少年自然の家(ネイパル洞爺)
- ③主催：世界子ども水フォーラム・フォローアップin北海道2010実行委員会
- ④共催：(財)河川環境管理財団 子どもの水辺サポートセンター
- ⑤後援：文部科学省、国土交通省、環境省、農林水産省、北海道、北海道教育委員会、洞爺湖町、NPO法人日本水フォーラム、NPO法人自然体験活動推進協議会、NPO法人川に学ぶ体験活動協議会、(社)ガールスカウト日本連盟

フォローアップin北海道2010の特徴と効果

- ・水に関心を持っている、さらに自ら活動している中高生を全国から募集
- ・水問題に関する作文審査による選抜
- ・OB・OG等からなる大学生・大学院生がファシリテーター等の運営スタッフとなり、大会運営の中心的役割を担う
- ・自分達自身の活動発表やグループ討議の結果を発表することによるスキルアップ
- ・自分達の活動に対する改善と他への普及に向けてのネットワークの構築



スタッフのファシリテーション能力向上のため運営スタッフ講習会を開催
(講師：守随純子氏)



本大会本番に向けて、『3つの大切にしたいこと』を決定!